

1 「総合的な探究の時間」指導計画

1 全体計画

実施年度	令和4年度	
教育課程表上の名称	探究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	
学校教育目標	確かな学力と豊かな感性・人間性、高い志を持つ人材の育成	
総合的な探究の時間の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な探究を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。	
育成を目指す資質・能力	知識及び技能	課題の発見と解決に必要な基本的知識・技能を身につける。
	思考力、判断力、表現力等	実社会や実生活との関りから問いを見出し、課題を立て、情報収集し整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に課題に取り組む態度を養う。
科目目標	探究Ⅰ	生徒の興味・関心に応じて選択設定した課題について、グループで探究活動を実施する。たつの市と連携し、市の課題についての探究活動も実施する。 テーマ設定、研究手法（仮説立案・情報収集・検証・結果・考察等）、発表資料（ポスター）作成を通して、課題を発見し解決していくための基本的な資質や能力を育成すると共に、協働的に課題に取り組む態度を身につける。さらに、学んだ内容を進路選択につなげる。
	探究Ⅱ	探究Ⅰの内容をふまえ、実社会や実生活と自己との関りからテーマを自ら見出し、個人で探究活動を実施する。地域グループは、たつの市と連携し、探究活動を実施する。 テーマ設定、研究手法、発表資料（スライド）作成に至るまで、自己の力で問題解決することで、一人ひとりの主体的、創造的に取り組む態度の伸長を図る。
	探究Ⅲ	探究Ⅰ、Ⅱの内容をふまえ、個人での探究活動を実施する。 他者との討論、論文作成を通して、論理的に物事を考え表現し、事象を科学的にとらえる力を身につける。さらに、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すると共に、よりよい社会を実現できる人材を育成する。
学習活動の在り方	学びに連続性を持たせ、3年間で学習成果を積み上げることができる指導計画を作成。 専門家による講演の場を積極的に設定し、学習活動内容を明確化し「生徒の探究心」の伸長を図る。	
指導方法及び指導体制	探究Ⅰ グループに分かれ、テーマ別グループで探究活動実施。最終的にポスターを作成・発表を行う。 学年教員9名で担当。副主任・副担任は学年探究係。	

	<p>探究Ⅱ 現代社会で話題（入試でもよく取り上げられる）となっているテーマから、興味・関心に応じたカテゴリーに分かれ、個人で探究活動実施。最終的にスライドを作成・発表を行う。</p> <p>学年9名+11名の合計20名で担当（担当者の教科は英語・数学・歴公・国語・体育・理科・情報）する。副主任・副担任は学年探究係。＊各教室3名ずつを配置。</p> <p>探究Ⅲ 現代社会で話題（入試でもよく取り上げられる）となっているテーマから、興味・関心に応じたカテゴリーに分かれ、個人で探究活動実施。探究Ⅱで作成したスライドを元に論文を作成する。</p> <p>学年教員9名で担当する。副主任・副担任は学年探究係。</p>								
<p>評価の観点の趣旨</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="474 685 687 734">評価の観点</th> <th data-bbox="694 685 1351 734">評価の観点の趣旨</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="474 743 687 880">a 知識及び技能</td> <td data-bbox="694 743 1351 880">探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 889 687 1025">b 思考力・判断力・表現力</td> <td data-bbox="694 889 1351 1025">実社会や実生活と自己との関りから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1034 687 1218">c 主体的に学習に取り組む態度</td> <td data-bbox="694 1034 1351 1218">探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。</td> </tr> </tbody> </table>	評価の観点	評価の観点の趣旨	a 知識及び技能	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	b 思考力・判断力・表現力	実社会や実生活と自己との関りから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	c 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。
評価の観点	評価の観点の趣旨								
a 知識及び技能	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。								
b 思考力・判断力・表現力	実社会や実生活と自己との関りから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。								
c 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。								

2 第1学年（探究Ⅰ）の年間指導計画

探究Ⅰ 課題	生徒の興味・関心に応じたグループに分かれ活動。								
履修単位数	1 単位（35 時間）								
教育課程実施に係る位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 時間割に位置付けて実施 <input type="checkbox"/> 時間割に位置付けるとともにある時期に集中して実施 （集中して実施する時期： ）								
評価の観点の趣旨	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の観点</th> <th>評価の観点の趣旨</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a 知識及び技能</td> <td>現代社会における様々な課題について理解を深めるとともに、探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につける。</td> </tr> <tr> <td>b 思考力・判断力・表現力</td> <td>実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、グループで課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ、最終的にはポスター作成を通して成果を表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>c 主体的に学習に取り組む態度</td> <td>探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より豊かな生活を実現しようとする態度を身に付ける。</td> </tr> </tbody> </table>	評価の観点	評価の観点の趣旨	a 知識及び技能	現代社会における様々な課題について理解を深めるとともに、探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につける。	b 思考力・判断力・表現力	実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、グループで課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ、最終的にはポスター作成を通して成果を表現することができる。	c 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より豊かな生活を実現しようとする態度を身に付ける。
評価の観点	評価の観点の趣旨								
a 知識及び技能	現代社会における様々な課題について理解を深めるとともに、探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につける。								
b 思考力・判断力・表現力	実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、グループで課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ、最終的にはポスター作成を通して成果を表現することができる。								
c 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より豊かな生活を実現しようとする態度を身に付ける。								

時	指導項目	評価の観点			主な学習活動	評価基準
		a	b	c		
1、2	探究Ⅰ 概要	○	○	○	概要説明会、セミナー等を通して、研究課題を考える。	a 探究活動の課題設定と解決に必要な知識・技能を身に付けている。 b 班で設定したテーマから課題を見出し、探究活動の概要について計画を立案できる。 c 課題の設定や探究活動計画立案に主体的・協働的に取り組んでいる。
3	探究活動の手法	○	○	○	探究活動を行うに当たり、その方法を具体事例から学習し、課題研究の見通しをもつ。	a 探究活動を行うために必要な知識・技能を身に付けている。 b 課題に応じた様々な手法があることを理解し、その中から班の研究に必要な手法を選択できる。 c 探究活動の手法を学ぶことに主体的・協働的に取り組んでいる。
4 ～	探究活動	○	○	○	班で設定した研究課題に対して、情報収集、整理	a 探究活動を行うために必要な情報収集、整理分析、発表についての知

9				<p>分析、発表準備に取り組む。</p> <p>書籍・インターネット検索、アンケート調査、インタビュー取材、仮説検証のための実験等の研究活動実施。</p> <p>内容を分析し、考察を行う。</p> <p>発表用資料（ポスター）を作成する。</p>	<p>知識・技能を身に付けている。</p> <p>b 研究活動から得られた結果を適切に整理分析し、思考・判断・表現することができる。</p> <p>c 情報収集、整理分析、発表に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
12 ～ 15	研究成果発表	○	○	○	<p>探究活動の成果を発表する。</p> <p>a 探究活動の成果をまとめ、発表するために必要な知識・技能を身に付けている。</p> <p>b 探究活動の成果を適切に表現し、正確に伝えることができる。</p> <p>c 探究活動の成果発表に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
16 ～ 18	ふりかえり	○	○	○	<p>班の探究活動をふりかえり、次年度に繋がるように内容について検証する。</p> <p>a 次年度作成する発表資料（スライド）に必要な知識・技能を身に付ける。</p> <p>b 探究活動の成果をふりかえり、学んだことを再構築し、進路選択につなげる。</p> <p>c 次年度作成する発表資料（スライド）の案づくりに主体的・協働的に取り組んでいる。</p>

3 第2学年（探究Ⅱ）の年間指導計画

探究Ⅱ課題	11領域（生活・社会、環境、国際問題・異文化理解、日本語・日本人、教育、福祉、政治・経済、情報・メディア、科学技術（理学・工学）、科学技術（農学・生物）、地域創生）の中から各自が選択し活動する。								
履修単位数	1単位（35時間）								
教育課程実施に係る位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 時間割に位置付けて実施 <input type="checkbox"/> 時間割に位置付けるとともにある時期に集中して実施 （集中して実施する時期： ）								
評価の観点の趣旨	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の観点</th> <th>評価の観点の趣旨</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a 知識及び技能</td> <td>実社会や実生活における諸課題について理解を深めるとともに、探究課題の解決に向け様々な研究手法や情報を整理・収集する技術を身につける。</td> </tr> <tr> <td>b 思考力・判断力・表現力</td> <td>実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、個人で課題を立て、多面的・多角的な視点から物事を考え、仮説を立て、論理的な分析方法に基づきまとめ、最終的にはスライド作成を通して成果を表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>c 主体的に学習に取り組む態度</td> <td>探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己と社会とのつながりを意識したうえで、地域に貢献しようとする態度を身に付ける。</td> </tr> </tbody> </table>	評価の観点	評価の観点の趣旨	a 知識及び技能	実社会や実生活における諸課題について理解を深めるとともに、探究課題の解決に向け様々な研究手法や情報を整理・収集する技術を身につける。	b 思考力・判断力・表現力	実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、個人で課題を立て、多面的・多角的な視点から物事を考え、仮説を立て、論理的な分析方法に基づきまとめ、最終的にはスライド作成を通して成果を表現することができる。	c 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己と社会とのつながりを意識したうえで、地域に貢献しようとする態度を身に付ける。
評価の観点	評価の観点の趣旨								
a 知識及び技能	実社会や実生活における諸課題について理解を深めるとともに、探究課題の解決に向け様々な研究手法や情報を整理・収集する技術を身につける。								
b 思考力・判断力・表現力	実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、個人で課題を立て、多面的・多角的な視点から物事を考え、仮説を立て、論理的な分析方法に基づきまとめ、最終的にはスライド作成を通して成果を表現することができる。								
c 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己と社会とのつながりを意識したうえで、地域に貢献しようとする態度を身に付ける。								

時	指導項目	評価の観点			主な学習活動	評価基準
		a	b	c		
1、2	探究Ⅱ概要	○	○	○	概要説明会、セミナー等を通して、11領域から領域を選択し、研究課題を考える。	a 探究活動の課題設定と解決に必要な知識・技能を身に付けている。 b 自身が設定したテーマから課題を見出し、探究活動の概要について計画を立案できる。 c 課題の設定や探究活動計画立案に主体的・協働的に取り組んでいる。
3	探究活動の手法	○	○	○	探究活動を行うに当たり、その方法を具体事例から学習し、課題研究の見通しをもつ。	a 探究活動を行うために必要な知識・技能を身に付けている。 b 課題に応じた様々な手法があることを理解し、その中から自身の研究に必要な手法を選択できる。 c 探究活動の手法を学ぶことに主体的・協働的に取り組んでいる。

4 ～ 11	探究活動				<p>自身で設定した研究課題に対して、情報収集、整理分析、発表準備に取り組む。</p> <p>書籍・インターネット検索、アンケート調査、インタビュー取材、仮説検証のための実験等の研究活動実施。</p> <p>内容を分析し、考察を行う。</p> <p>発表用資料（スライド）を作成する。</p>	<p>a 探究活動を行うために必要な情報収集、整理分析、発表についての知識・技能を身に付けている。</p> <p>b 研究活動から得られた結果を適切に整理分析し、思考・判断・表現することができる。</p> <p>c 情報収集、整理分析、発表に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
12 ～ 15	研究成果発表				<p>探究活動の成果を発表する。</p> <p>まず、カテゴリー内で全員が発表し、優秀者（各カテゴリー1名程度）が全体の前で発表する。</p>	<p>a 探究活動の成果をまとめ、発表するために必要な知識・技能を身に付けている。</p> <p>b 探究活動の成果を適切に表現し、正確に伝えることができる。</p> <p>c 探究活動の成果発表に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
16 ～ 18	ふりかえり				<p>自身の探究活動をふりかえり、次年度作成する論文に繋がるように内容検討を行う。</p>	<p>a 次年度作成する論文作成に必要な知識・技能を身に付ける。</p> <p>b 探究活動の成果をふりかえり、学んだことを再構築する。</p> <p>c 次年度作成する論文の構成について主体的・協働的に取り組んでいる。</p>

4 第3学年（探究Ⅲ）の年間指導計画

探究Ⅲ課題	11 領域（生活・社会、環境、国際問題・異文化理解、日本語・日本人、教育、福祉、政治・経済、情報・メディア、科学技術（理学・工学）、科学技術（農学・生物）、地域創生）の中から各自が選択し活動する。								
履修単位数	1 単位（35 時間）								
教育課程実施に係る位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 時間割に位置付けて実施 <input type="checkbox"/> 時間割に位置付けるとともにある時期に集中して実施 （集中して実施する時期： ）								
評価の観点の趣旨	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の観点</th> <th>評価の観点の趣旨</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a 知識及び技能</td> <td>探究の意義や価値を理解するとともに、探究課題の解決に向け様々な研究手法や情報を多面的・多角的な視点から整理・収集する技術を身につける。</td> </tr> <tr> <td>b 思考力・判断力・表現力</td> <td>実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、個人で課題を立て、多面的・多角的な視点から物事を考え、仮説を立て、論理的な分析方法に基づきまとめ、最終的には論文作成を通して成果を表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>c 主体的に学習に取り組む態度</td> <td>探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己と社会とのつながりを意識したうえで、よりよい社会を切り拓こうとする態度を身に付ける。</td> </tr> </tbody> </table>	評価の観点	評価の観点の趣旨	a 知識及び技能	探究の意義や価値を理解するとともに、探究課題の解決に向け様々な研究手法や情報を多面的・多角的な視点から整理・収集する技術を身につける。	b 思考力・判断力・表現力	実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、個人で課題を立て、多面的・多角的な視点から物事を考え、仮説を立て、論理的な分析方法に基づきまとめ、最終的には論文作成を通して成果を表現することができる。	c 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己と社会とのつながりを意識したうえで、よりよい社会を切り拓こうとする態度を身に付ける。
評価の観点	評価の観点の趣旨								
a 知識及び技能	探究の意義や価値を理解するとともに、探究課題の解決に向け様々な研究手法や情報を多面的・多角的な視点から整理・収集する技術を身につける。								
b 思考力・判断力・表現力	実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、個人で課題を立て、多面的・多角的な視点から物事を考え、仮説を立て、論理的な分析方法に基づきまとめ、最終的には論文作成を通して成果を表現することができる。								
c 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己と社会とのつながりを意識したうえで、よりよい社会を切り拓こうとする態度を身に付ける。								

時	指導項目	評価の観点			主な学習活動	評価基準
		a	b	c		
1、2	探究活動	○	○	○	自身で設定した研究課題に対して、情報収集、整理分析、発表準備に取り組む。 書籍・インターネット検索、アンケート調査、インタビュー取材、仮説検証のための実験等の研究活動実施。 内容を分析し、考察を行う。 論文を作成する。	a 探究活動を行うために必要な情報収集、整理分析、発表についての知識・技能を身に付けている。 b 研究活動から得られた結果を適切に整理分析し、思考・判断・表現することができる。 c 情報収集、整理分析、発表に主体的・協働的に取り組んでいる。
3	研究成果発表	○	○	○	探究活動の成果を発表する。	a 探究活動の成果をまとめ、発表するために必要な知識・技能を身に付けている。

						<p>b 探究活動の成果を適切に表現し、正確に伝えることができる。</p> <p>c 探究活動の成果発表に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
4 ～ 10	進路探究		○	○	<p>自身の探究活動を振り返り、自己の進路に生かす。</p>	<p>b 自身の探究活動を振り返り、自己の特性・能力を社会にどう生かすか試行錯誤する。</p> <p>c 自身の探究活動を振り返り、自己の特性・能力を社会にどう生かすかを整理し、進路につなげる。</p>
11	ふりかえり		○	○	<p>自身の探究活動をふりかえり、進路に繋げる。</p>	<p>b 探究活動の過程と成果をふりかえり、学んだことを再構築するとともに、自身の進路に直結する場面でそれらを他者にうまく表現できるようにする。</p> <p>c 自身の探究活動のふりかえりについて主体的・協働的に取り組んでいる。</p>

